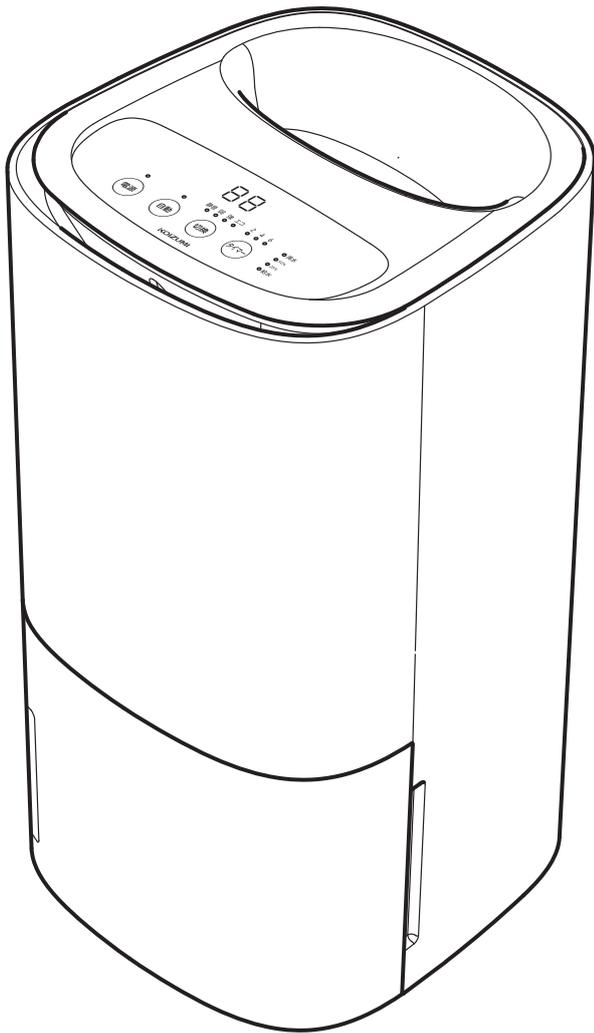


## 気化式加湿器 KHM-5592

### 取扱説明書 (保証書付)



#### 目次

安全上のご注意.....	1 ~ 3
ご使用にあたってのお願い.....	4
各部のなまえ.....	5 ~ 6
お使いになる前に.....	7
運転のしかた.....	8 ~ 10
お手入れのしかた.....	11 ~ 12
保管のしかた.....	13
仕様.....	13
「故障かな?」と思ったら.....	14
お客様の個人情報のお取り扱いについて ...	14
アフターサービスについて.....	15
保証・無料修理規定.....	15
保証書.....	15
お客様相談窓口.....	15

このたびは、コイズミ 気化式加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。なおこの取扱説明書には保証書が付いています。お読みになった後も、大切に保管してください。
- 特に「安全上のご注意」と「ご使用にあたってのお願い」、「お使いになる前に」を必ずお読みください。

# 安全上のご注意

- \* ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- \* ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



**警告**

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの。



**注意**

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの。

## 絵表示の例

は、してはいけない 「禁止」の内容です	一般的な禁止	分解禁止	水ぬれ禁止
は、必ず実行していただく 「強制」の内容です	めれ手禁止	接触禁止	
	必ず行う	電源プラグを抜く	

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 警告



### 故障・異常時には、直ちに使用を中止する

そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

- スイッチを入れても、時々通電しないときがある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 通電中に異常な音や振動がする。
- 電源プラグ・電源コード・本体などが異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。

このような症状のときはすぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または、小泉成器株式会社「修理センター」に点検と修理を依頼してください。



### 改造はしない。また、修理技術者以外の方は、分解や修理をしない。

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



### 吹出口や吸気口、本体のすき間にピンや針金などの異物を入れない。

感電や、異常動作によるけがの原因となります。



### 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、高温部に近づけたりしない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



### 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因となります。

 **警告**



**定格15A以上のコンセントを単独で使用する。延長コードを使用しない。**  
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常に発熱して発火することがあります。



**電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。**  
ショート・火災の原因となります。



**AC100V以外では使用しない。(日本国内専用)**  
火災・感電の原因となります。



**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。**  
感電・ショート・発火の原因となります。



**幼児の手の届く範囲で使用しない。**  
本製品の隙間から指や物を差し込んだり、電源プラグをなめたりすると、感電やけがの原因となります。



**お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。**  
感電やけがの原因となります。



**水につけたり、水をかけたりしない。また、本体や操作部に水やお茶などをこぼさない。**  
万一こぼれたときは、漏電や感電、発火の恐れがありますので、直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。



**電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む。**  
感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。



**給水トレイのお手入れに塩素系・酸性・アルカリ性・柑橘類の洗浄剤は使用しない。**  
洗浄剤が残り、有毒ガスが発生する原因となります。

## ⚠ 注意



**使用しないときは必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。**

けがや故障の原因となります。



**電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜く。**

ショート・感電・発火の原因となります。



**不安定な場所には置かない。**

特に毛足の長い敷物や座ぶとん等の上で使用しないでください。

本体が不安定となり、火災の原因となったり、水がこぼれて家財を濡らしたりする原因となります。



**温室や浴室、屋外など高温・多湿・水のかかる場所で使用しない。**

感電やショート、発火の原因となります。



**壁や家具の近くで使用しない。**

水分で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。



**使用中は給水トレーに手を触れたり、吹出口や吸気口に指を入れたりしない。**

けがの原因となります。また、誤動作による故障や水漏れ、変形の原因となります。



**使用中は本体を動かさない。移動するときは運転を止め、給水トレーを抜いて本体の水を捨てる。**

水がこぼれて家財を濡らしたり、本体内部に水が入り故障や水漏れの原因となります。



**給水トレーの水は、常に清潔にする。**

- 給水トレーの水は、毎日新しい水道水と入れ換えてください。
- 給水トレーは、定期的にお手入れしてください。汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖し、悪臭、および体質によりまれに、健康を害する原因となります。



**1週間以上使用しない場合は、給水トレーから抗菌カートリッジを取り外して乾かす。**

カビや雑菌が繁殖し、悪臭、および体質によりまれに健康を害する原因となります。



**1度使用した抗菌カートリッジ・加湿フィルターを、翌シーズンに使用しない。**

カビや雑菌が繁殖し、悪臭、および体質によりまれに健康を害する原因となります。

# ご使用にあたってのお願い

## ■故障などを防ぐために、必ずお守りください。

### **使用前**

- 落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。給水トレーにヒビが入るなどの破損をして水漏れや故障の原因となります。
- 水道水を使用してください。アロマオイル、香水、芳香剤、温水(40℃以上)、洗剤、化学薬品、酸性水、アルカリ水、ミネラルウォーター、井戸水は使用しないでください。

### **使用中**

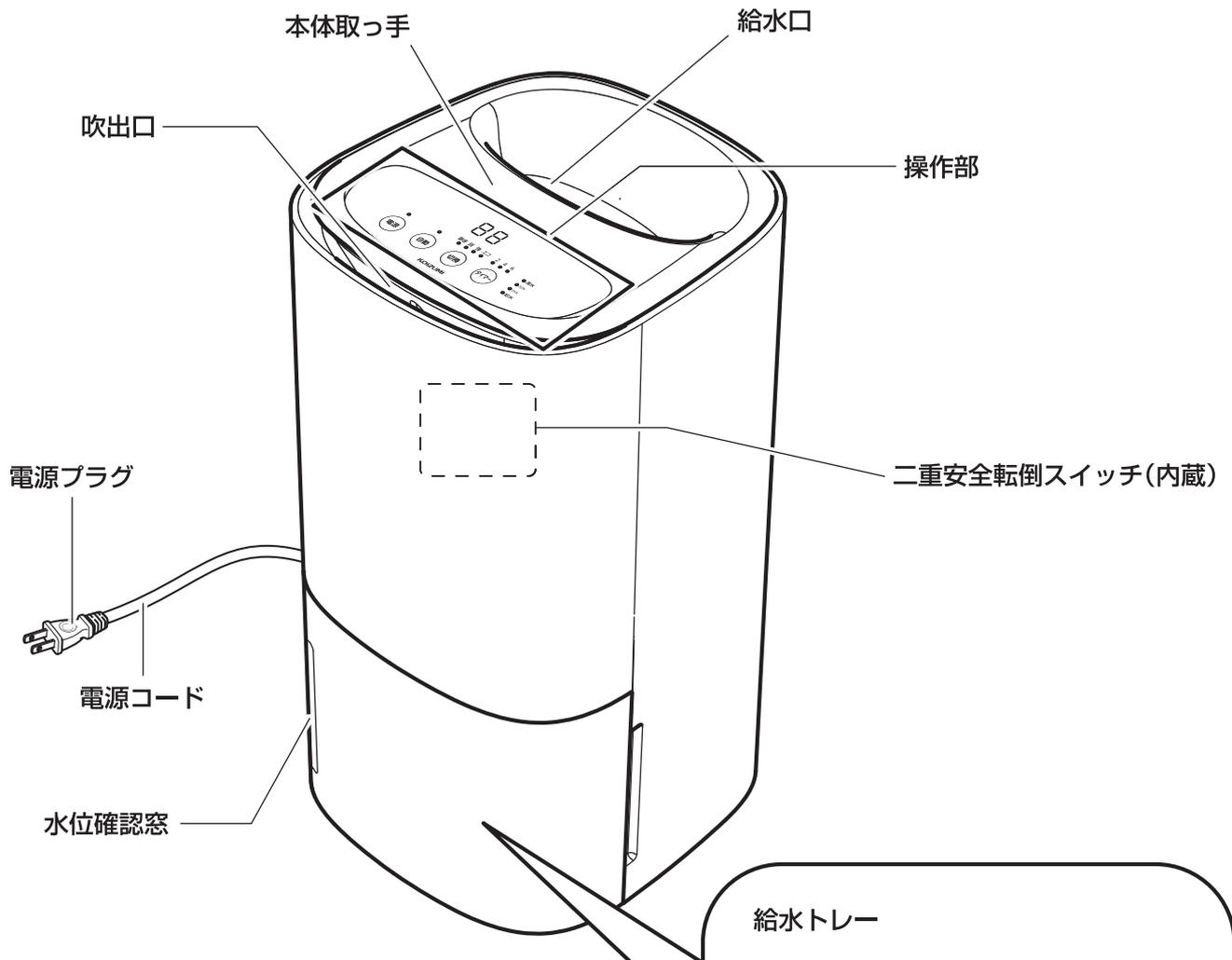
- カーテンやタオルで吹出口をふさがないでください。  
異常加熱で変形や故障の原因となります。
- 加湿しすぎないでください。加湿しすぎると周囲を濡らしたり、故障の原因となります。
- 凍結に注意してください。凍結すると故障の原因となります。  
凍結の恐れがあるときは給水トレーの水を捨ててください。
- アロマオイルや香水を給水トレーへ入れないでください。

### **使用后**

- 本体内のお手入れをこまめにおこなってください。お手入れをしないで使い続けると、水あかやごみなどで汚れ、性能が低下したりカビなどの繁殖や悪臭発生の原因となります。
- 保管時は、排水してよく水分を拭き取ってください。抗菌カートリッジ・加湿フィルターは給水トレーから取り外してください。水分が残ったまま長期間保管すると、水あかやごみなどで汚れ、性能が低下したりカビなどの繁殖や悪臭発生の原因となります。

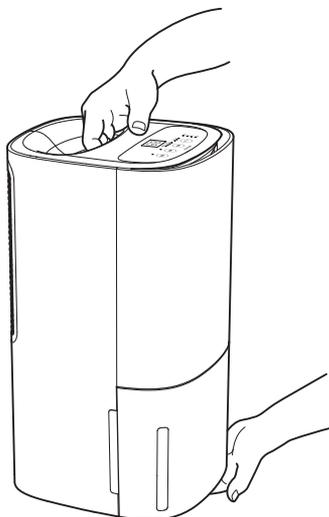
# 各部のなまえ

## 正面

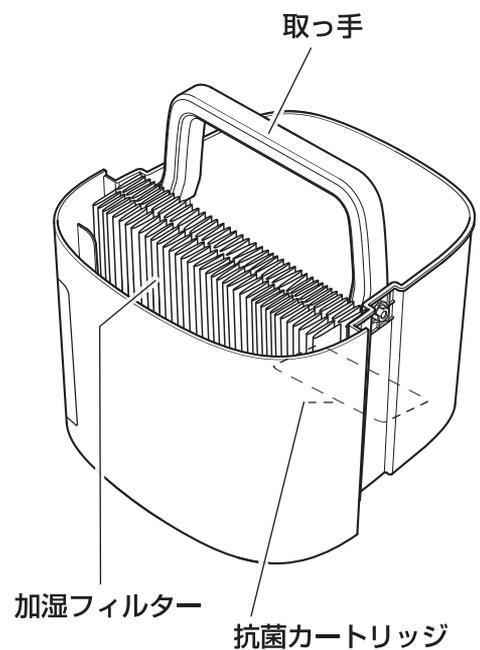


### 本製品を持ち運ぶときは

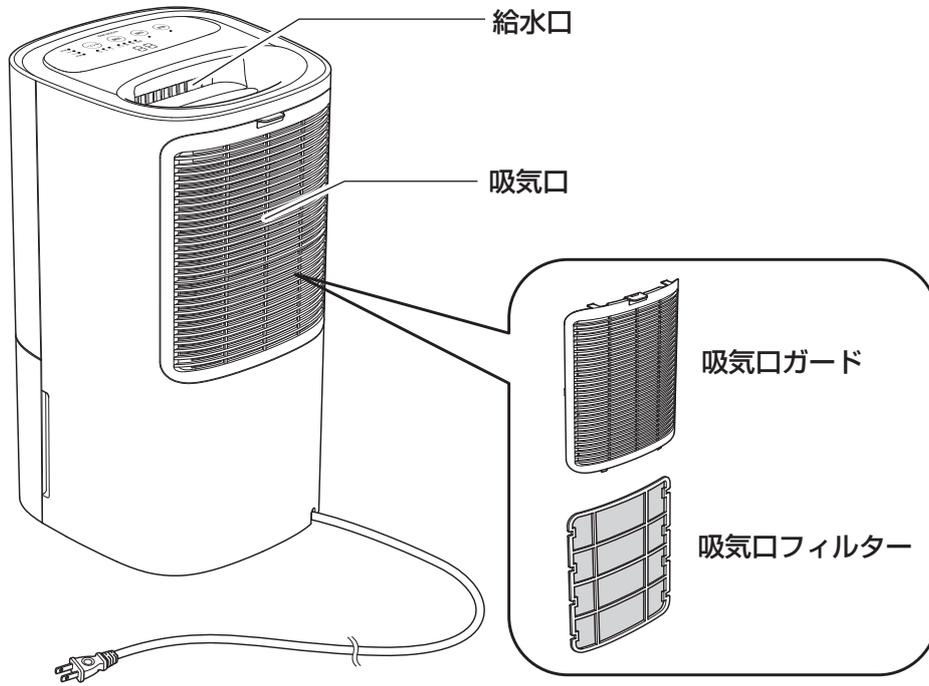
図のように、本体取っ手を持って移動してください。



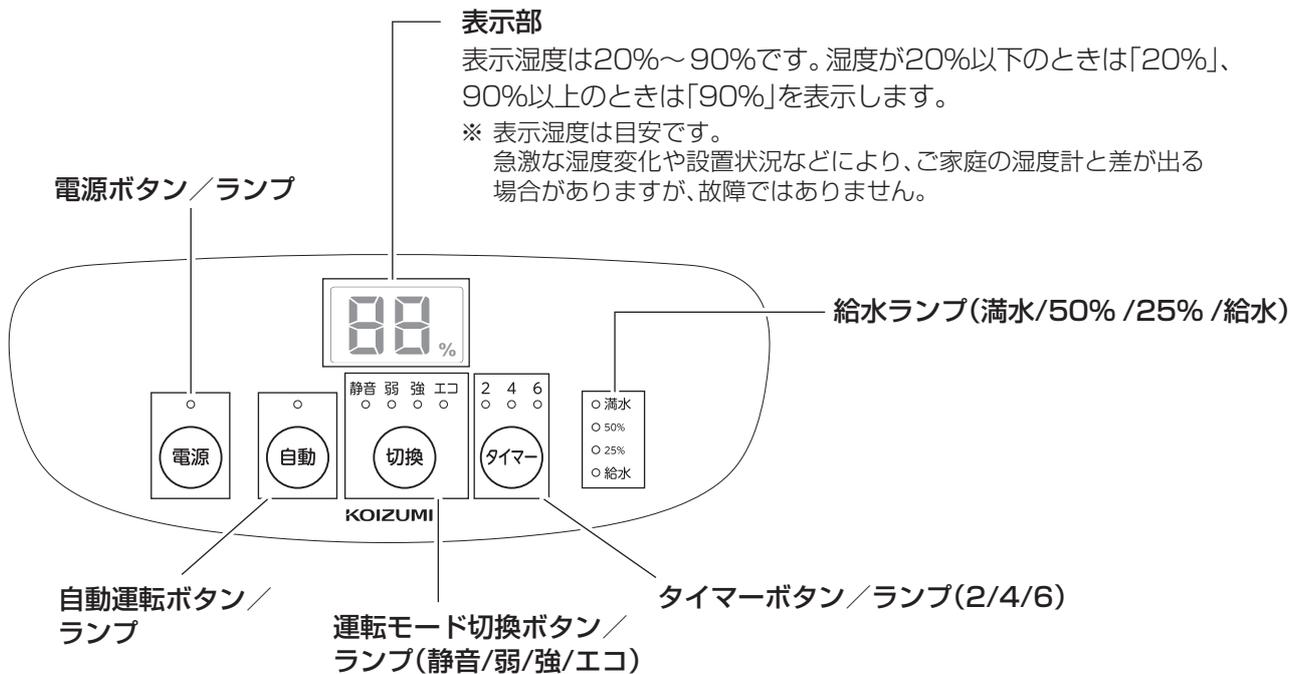
### 給水トレー



## 背面



## 操作部



# お使いになる前に

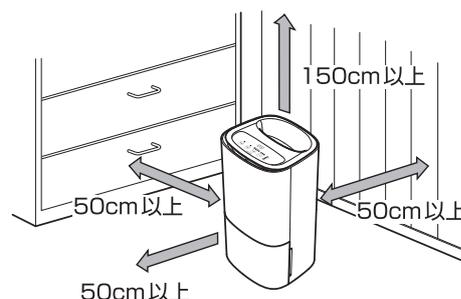
## 加湿方法について

水分を含ませたフィルターに温風を当てて湿った空気を吹き出す方法です。蒸気(湯気)は見えません。また、水が気化するときに空気の熱を奪うため、吹出口より出る風は暖かくありません。

## 設置について

次の点に注意して設置してください。

- 壁やカーテン、家具などから50cm以上、天井から150cm以上離して設置してください。左右のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。
- 安定した平らな床面に置いてください。
- 直射日光が当たる場所や暖房機の上または近くから離してください。(変形・変色したり、誤作動の原因となることがあります。)
- エアコンの送風が吹出口に当たらない場所に設置してください。(床面を濡らす恐れがあります。)
- 周辺に、吹出口から出る風をさえぎるものや、湿気に弱いものがないことを確認してください。



## 次のような場所では使用しない

守らないと、本機が倒れた場合、火災や、水濡れによるシミの原因となることがあります。

- 天井・壁やカーテン、家具、ふすま、障子、ポスターなどに吹出口から出る風が直接あたるところ、およびその近く
- パソコンやテレビ、音響機器、精密機械(携帯電話など)の近く
- 人がよく通るところ
- 湿度の高いところ
- ベッド脇など就寝中に手が届く場所
- 不安定な場所(カーペットやふとんなどの上など)

## 二重安全転倒スイッチ(内蔵)について

通電中に本体が倒れたり、傾いたりした場合、自動的に電源が切れます。また、倒れた状態では通電しない、二重の安全構造を搭載しています。

- 引き続き使用する場合は、安定した場所に置きなおし、電源を入れてください。
- 本体内部が濡れた場合は、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。

# 運転のしかた

## で注意

- 給水口から水がこぼれないように注意してください。
- 給水時にタオルなどを準備し、本体や床が濡れないように注意してください。
- 給水トレーには、水道水(飲用)以外は絶対に入れないでください。アロマオイルや芳香剤、香水、温水(40℃以上)、洗剤、化学薬品、酸性水、浄水器の水やミネラルウォーター、井戸水などを入れると、変形、故障、カビや雑菌の繁殖の原因となります。

## 1 電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。

コンセントに差し込む前に保護キャップを外してください。コンセントに差し込むと「ピッ」と鳴ります。

## 2 給水トレーに水を入れます。

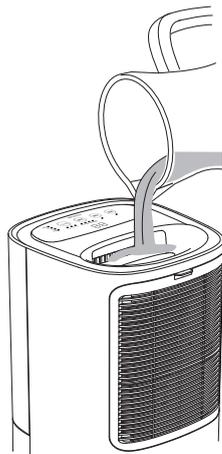
### 給水口から入れる場合

- ① 給水トレーが正しく取り付けられているか確認します。

給水トレーが確実に本体に入っていないと、給水ランプが赤色に点滅します。

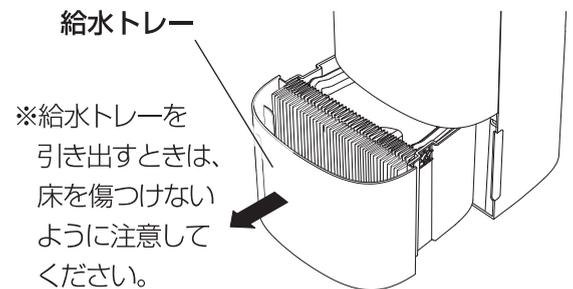
- ② 給水口から水道水(飲用)を入れます。

給水トレーから水があふれないように、次の3で給水ランプの点灯を確認してください。



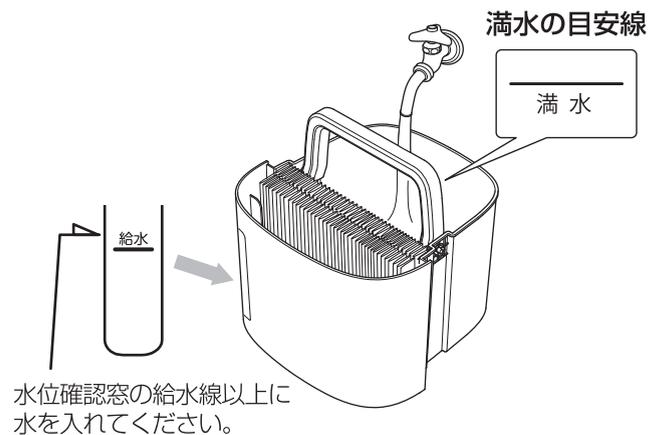
### 給水トレーに入れる場合

- ① 給水トレーを本体から引き出します。



- ② 給水トレーに水道水(飲用)を入れ、給水トレーを本体に取り付けます。

満水線以上に水を入れないよう注意してください。



## 3 給水トレーの水量を確認します。

満水： 満水のときにランプが青色に点灯、音はピッを5回

50%： 50%以上のときにランプが青色に点灯

25%： 25%以上50%未満のときにランプが青色に点灯

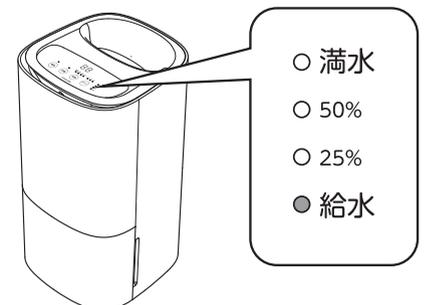
給水： 25%未満のときにランプが赤色に点滅

水の入れ過ぎの場合：

すべてのランプが点滅し、ピー音が5秒間鳴ります。



水を給水トレーの満水線以下に捨ててから、再びセットします。



# 運転のしかた

## 4 「電源」ボタンを押して電源を入れます。

「ピッピッ」と音が鳴り、電源ランプが青色に点灯します。  
電源を入れると、「弱」の運転モードで加湿を開始します。



## 5 運転モード切換ボタン、または自動ボタンを押して、お好みの運転モードを選びます。

<p>静音 弱 強 エコ ○ ● ○ ○</p> <p>○ 切換</p>	<p>運転モード切換ボタンを押すごとに、弱⇒強⇒エコ⇒静音の順にモードが選択できます。 モードを選ぶと「ピッ」と電子音が鳴り、選択した運転モードの上のランプが青色に点灯します。</p>
<p>●</p> <p>○ 自動</p>	<p>自動ボタンを押して自動運転を選択すると、自動的に加湿量を調整して運転します。 自動運転ボタンを押すと、ランプが青色に点灯します。 現在の湿度は湿度表示部に表示されます。</p> <p>湿度55%以下のとき：強運転 湿度56%以上のとき：静音運転</p>

### メモ

給水口から風が出ますが、故障ではありません。

## 加湿運転の目安時間

給水トレイ 1 杯分の水で約9時間の連続加湿運転が可能です。〔強(約550ml/h)運転/室温20℃の場合〕

## 運転を止める

電源ボタンを押します。

「ピーッ」と音が鳴り、電源ランプと、選択している運転モードのランプが消えます。

## 運転中に水がなくなったら

水がなくなると給水ランプが点滅して、ピッと5回鳴ります。

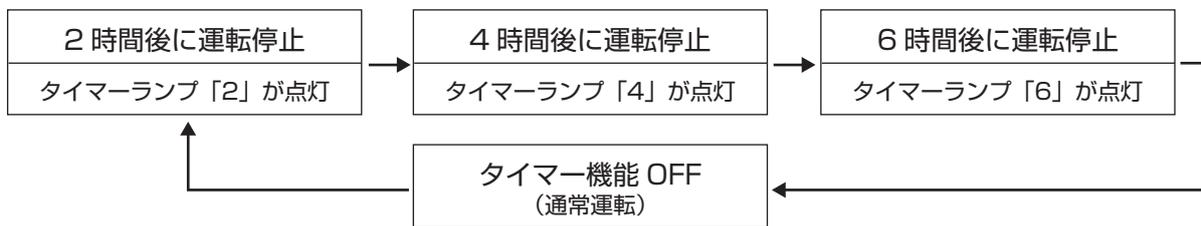
「2.給水トレイに水を入れます」にしたがって給水してください。

## タイマーを使う

設定した時間が経過したときに自動で運転を停止する機能です。  
運転中に、タイマーボタンをくり返し押して設定したい時間(2時間／4時間／6時間)を選びます。



設定時間(2時間、4時間、6時間)をタイマーランプの点灯で確認できます。



運転中タイマーランプは、残りの運転時間を表します。

(例)タイマーを4時間に設定してから2時間が経過したときは、タイマーランプの「4」が消灯し、「2」が点灯します。

### ● 設定時間が経過すると

自動で運転を停止します。電源ランプは点滅します。設定時間経過前に運転を停止すると、タイマーの設定は解除されます。

### ● 運転を再開するには

電源ボタンを押して1度電源を切ってから、再度電源を入れてください。

# お手入れのしかた

本機を使用しないときは、必ず給水トレーの水を捨ててください。

**⚠ 警告** : お手入れの際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 本体表面

本体表面の汚れは、水を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

### ご注意

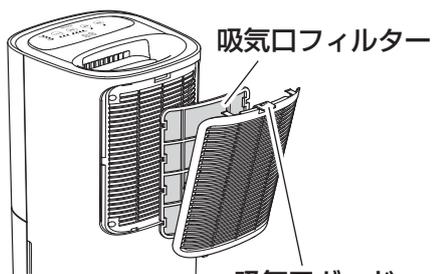
- 本体の丸洗いはしないでください。故障の原因となります。
- シンナー、ベンジン、ミガキ粉、たわしなどを使用しないでください。変質、変色の原因となります。



## 吸気口ガード/吸気口フィルター

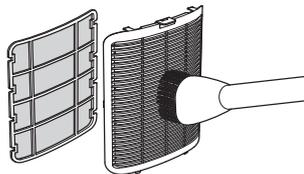
吸気口ガード/吸気口フィルターは週に1回の目安でお手入れしてください。

- 1** 吸気口ガードを本体から取り外します。

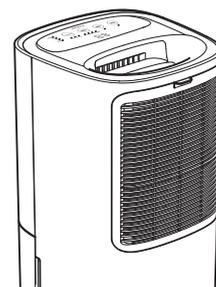


吸気口ガード  
取り外すときは、上の部分  
を押して取り外す。

- 2** 吸気口フィルター、  
吸気口ガードについて  
ごみやほこりを掃除機  
で吸い取ります。



- 3** 吸気口フィルターを元に戻し、  
吸気口ガードを取り付けます。



吸気口  
ガードは、  
下の部分  
から取り  
付ける。

## 給水トレー

給水トレーの中の汚れは、水洗いをしてください。

給水トレーの洗浄は、毎日行ってください。

### ご注意

- 給水トレーを落としたり、ぶつかけたりしないよう注意してください。
- 40℃以上の温水を使用しないでください。

## 加湿フィルター

加湿フィルターはすすぎ洗いをしてください。

加湿フィルターのお手入れは、2週間に1回が目安です。

### ご注意

加湿フィルターは、力を加えて洗わないでください。

## 抗菌カートリッジ・加湿フィルターを交換する

抗菌カートリッジは、給水トレイの中の水を抗菌するものです。

### 交換時期について

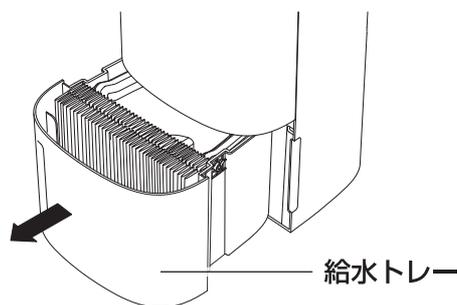
抗菌カートリッジ・加湿フィルターは消耗品です。次のような目安で交換してください。

- シーズンの初めには必ず新しい抗菌カートリッジ・加湿フィルターに交換してください。
- 抗菌効果の目安は使いはじめから約1年です。(使用頻度により異なります。)

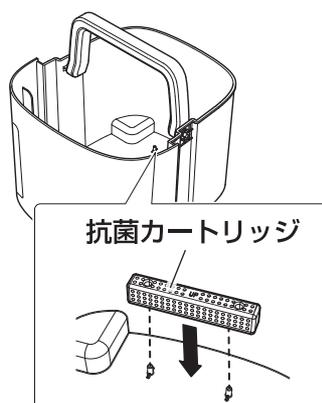
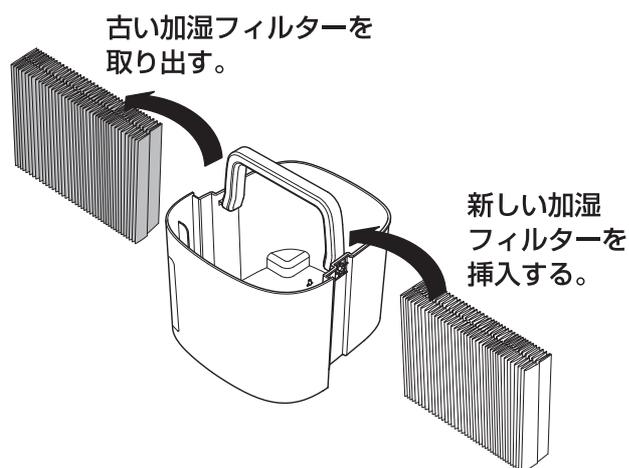
### 抗菌カートリッジ・加湿フィルターの交換のしかた

#### 1 本体から給水トレイを引き出します。

※給水トレイを引き出すときは、床を傷つけないように注意してください。



#### 2 引き出した給水トレイの中の古い抗菌カートリッジ・加湿フィルターを、新しい抗菌カートリッジ・加湿フィルターに交換します。



図のように、給水トレイ底面にある突起部に抗菌カートリッジを取り付ける。

#### メモ

- 抗菌カートリッジ・加湿フィルターを外した状態で運転しないでください。
- 本製品を1週間以上使用しない場合は、抗菌カートリッジ・加湿フィルターを取り外し、乾かしてください。
- 1度使用した抗菌カートリッジ・加湿フィルターは、翌シーズン使用しないでください。

# 保管のしかた

- 1 本製品をお手入れしたあと、水分を拭き取り、よく陰干ししてください。  
※抗菌カートリッジ\*・加湿フィルター\*を給水トレーから取り外し、乾かします。
- 2 本製品を陰干したあと、本体内や給水トレーに水滴が付いていないことを確認してください。
- 3 本製品をポリ袋などで包み、元の梱包ケースなどに入れ、湿気の少ないところに保管してください。

\* 1度使用した抗菌カートリッジ・加湿フィルターは、翌シーズン使用しないでください。短期保管のときのみ、乾かして再利用できます。

# 仕様

電源		AC100V 50/60 Hz共用
消費電力	静音	約210/215 W
	弱	約240/250 W
	強	約270/280 W
	エコ	約17/16.5 W
加湿量	静音	約370/390 ml/h
	弱	約430/450 ml/h
	強	約530/550 ml/h
	エコ	約190/180 ml/h
給水トレー容量		約6.5 l
連続加湿時間(加湿運転・強)		約9時間
電源コードの長さ		約1.8 m
安全装置	二重安全転倒スイッチ、サーモスタット、温度ヒューズ、電流ヒューズ	
外形寸法	約265(幅)×290(奥行)×492(高さ) mm	
質量	約5.3 kg	
付属品	取扱説明書(本書：保証書付)	

※ 加湿量・連続加湿時間は、室温や温度環境、壁、床の材質、部屋の構造などの環境条件によって大幅に左右されますので目安としてください。

※ 本製品の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

## 消耗部品について

消耗部品を依頼される場合には、お買い上げの販売店、または小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

名称	型番
吸気口フィルター	KHM-071
加湿フィルター	KHM-072
抗菌カートリッジ	KHM-091

# 「故障かな？」と思ったら

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、次の点検をしてください。それでも異常のある場合は、お買い上げの販売店まで保証書を添えて、商品をご持参ください。誤った修理は、火災や感電などの危険な事故につながります。ご家庭での分解修理はおやめください。

こんな場合	点検	処置のしかた
加湿しない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	電源プラグをしっかりと差し込んでください。
	給水ランプが赤色に点灯していませんか？（水が少なくなっていないですか？）	水を補給してください。（8ページ参照）
水が漏れる 水が溢れる	給水トレーが本体に確実に挿入されていますか？	給水トレーを本体にしっかりと押し込んでください。
給水ランプが赤く点灯したりしなかったりする	水が無くなる直前ではありませんか？（水位の変動により給水ランプが赤色に点灯することがあります。）	故障ではありません。
ブーンと音がする	モーターが回転する音です。	故障ではありません。
蒸気(湯気)が出ない 蒸気(湯気)が見えない	水分を含ませたフィルターに温風を当てて湿った空気を吹き出す方法のため、蒸気(湯気)は出ません。	故障ではありません。
表示部に「E1」が表示される	電源ボタンを押して電源を切り、電源を入れ直してください。	再度「E1」が表示されたときは、製品が故障している場合があります。 電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店、または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。

## 愛情点検

### ★長年ご使用の気化式加湿器の点検を！



このような  
症状は  
ありませんか

- 水漏れする。
- 電源コードを動かすと、途中で止まる。
- 運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさいニオイがする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用  
中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

## お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

- < 利 用 目 的 > お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。  
なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- < 業務委託の場合 > 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

# アフターサービスについて

## 1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。  
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は  
お買い上げ日より1年間です。

## 2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は  
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは  
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

## 3. 補修用性能部品の保有期間

- 気化式加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。  
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

### 【保証・無料修理規定】

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ご購入、ご購入品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、本書の「修理センター」へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。  
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。  
(ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。  
(ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。  
(ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。  
(ホ) 本書のご提示がない場合。  
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または本書の「修理センター」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは「アフターサービスについて」をご覧ください。

## 気化式加湿器

### 保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（左面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型番	KHM-5592		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）	
	見 体 本 1 年		
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	
販売店	TEL		
	店名・住所・電話		

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。  
小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

## お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

### ご意見・ご質問について

**お客様相談窓口** ナビダイヤル (全国共通番号) **0570 (07) 5555**  
 ■IP電話などからご利用いただけられない場合  
 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

### 修理に関するお問い合わせ

**東日本修理センター** ナビダイヤル (全国共通番号) **0570 (05) 8888**  
 ■IP電話などからご利用いただけられない場合  
 〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048(718)3340 FAX.048(718)3350

**西日本修理センター** ナビダイヤル (全国共通番号) **0570 (05) 8888**  
 ■IP電話などからご利用いただけられない場合  
 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3145 FAX.06(6613)3196

### 部品に関するお問い合わせ

**部品センター** ナビダイヤル (全国共通番号) **0570 (00) 3211**  
 ■IP電話などからご利用いただけられない場合  
 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3211 FAX.06(6613)3299

## 小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号  
 TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

受付時間：平日9：00～17：30  
 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2019年9月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)